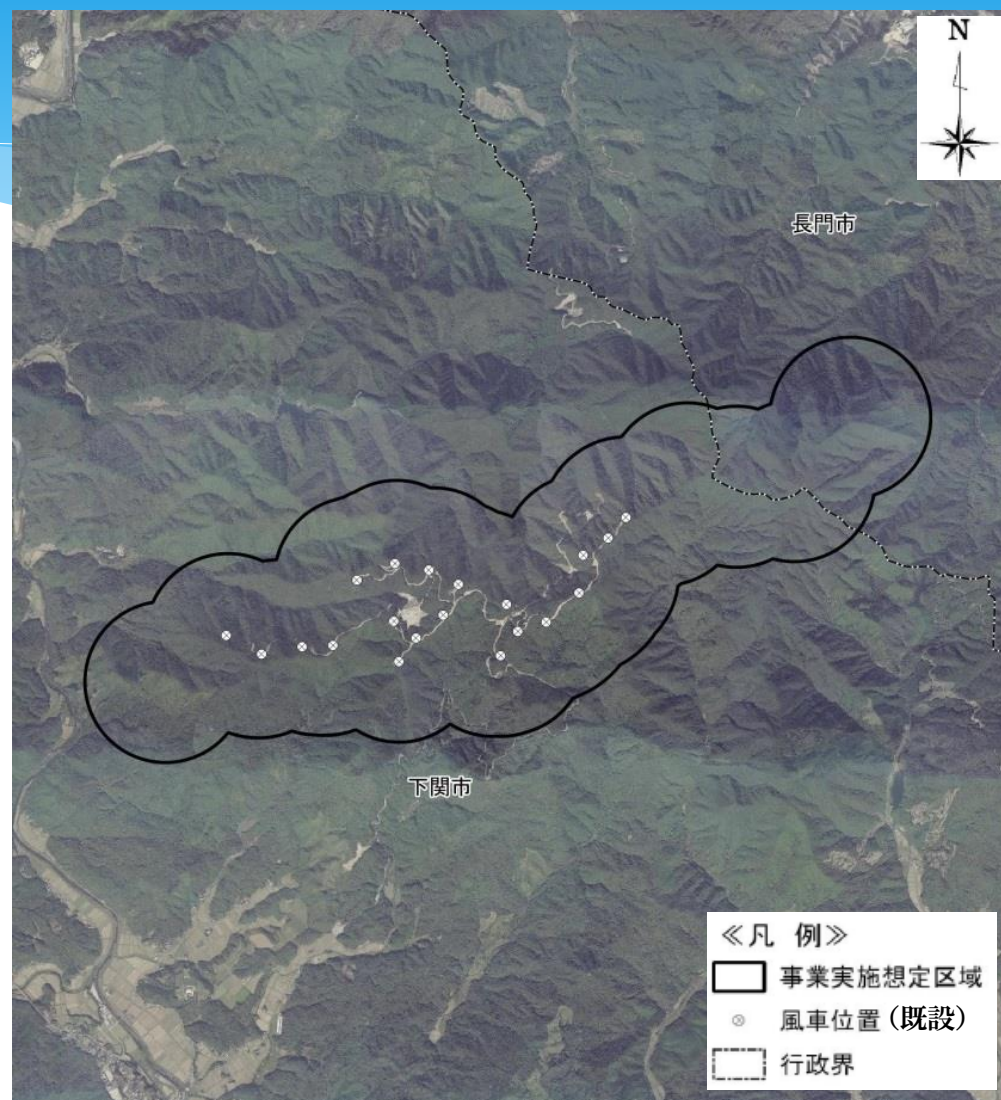


# (仮称) 白滝山ウインドファーム 更新事業

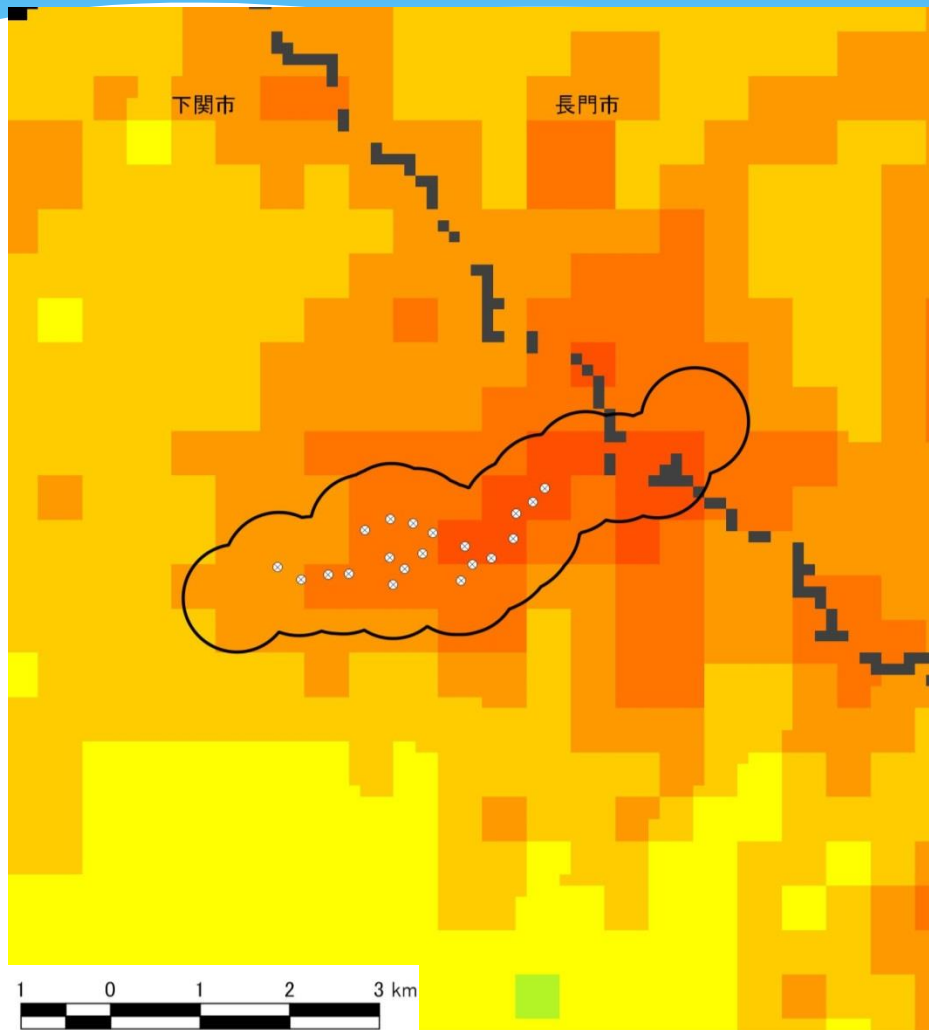
## 計画段階環境配慮書の概要

# 事業実施想定区域



# 第一種事業の概要

## ◆ 局所風況マップ（地上70m） ◆

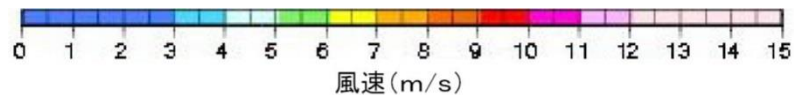


《凡 例》

■ 事業実施想定区域

⊙ 既設の風力発電機

□ 行政界



# 第一種事業の概要

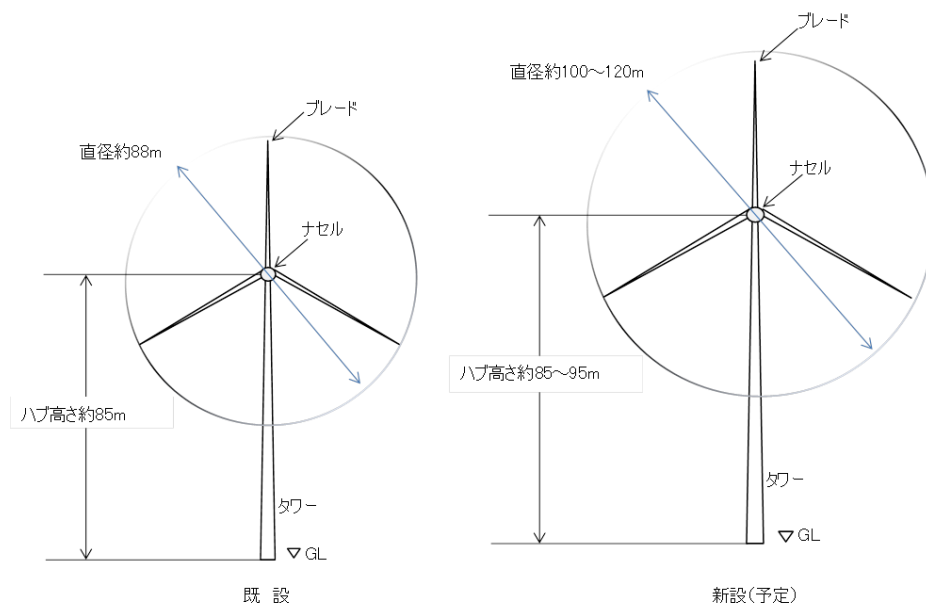
## ◆ 第一種事業の内容 ◆

第一種事業の名称	(仮称) 白滝山ウインドファーム更新事業
発電所の原動力の種類	風力(陸上)
発電所の出力	発電所出力：50,000kW(既設：50,000kW) 単機出力：3,000~4,500kW級 (既設：2,500kW) 基数：12~17基(既設：20基)

# 第一種事業の概要

## ◆ 風力発電機の概要 ◆

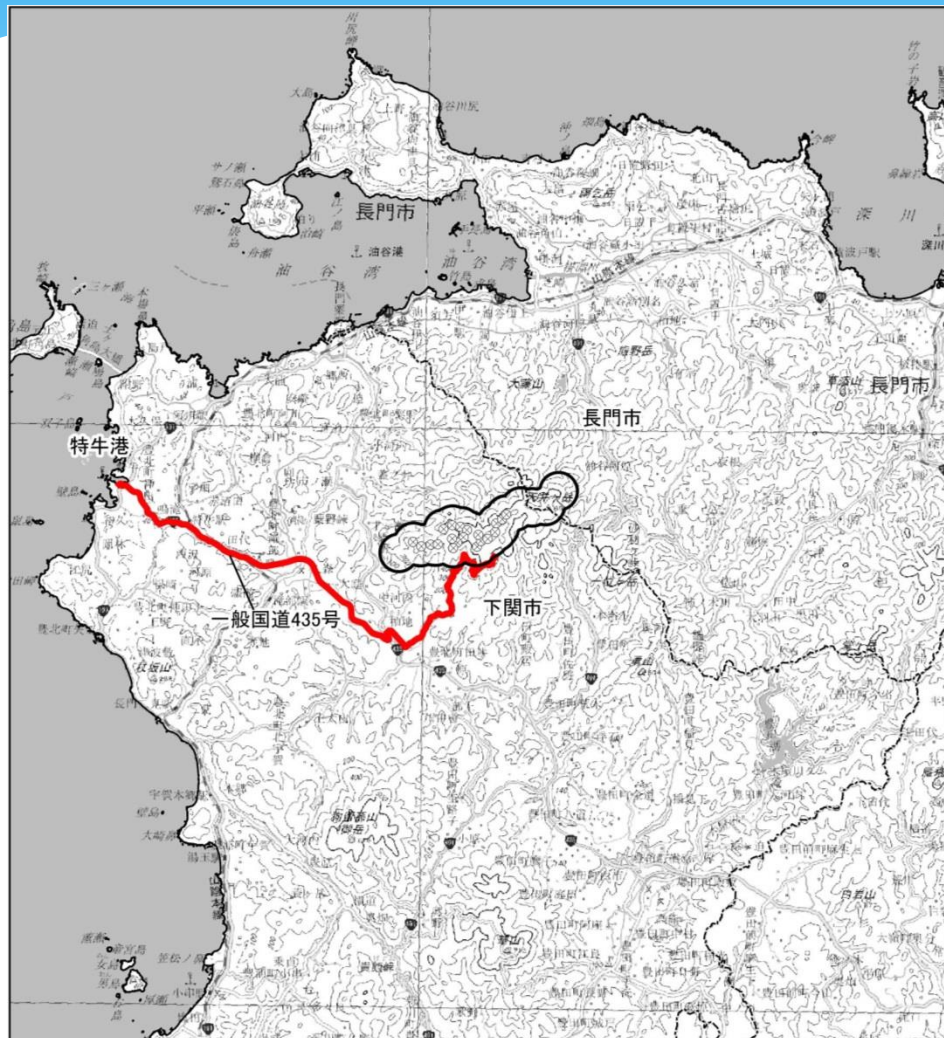
項目	既設	新設（予定）
ブレード枚数	3枚	3枚
ローター直径	約88m	約100~120m
ハブ高さ	約85m	約85~95m
最高高さ	約130m	約135~155m





# 工事中資材等の運搬方法

## ◆ 工事中資材等の主要な運搬ルート ◆



### 《凡例》

- 事業実施想定区域
- ⊗ 既設の風力発電機
- 行政界
- 搬出入ルート





# 温室効果ガス削減量

## ◆ 温室効果ガス削減量 ◆

項目	既設	新設（予定）	備考
定格出力(kW)	2,500	3,000~4,500	
基数(基)	20	12~17	4,500kW×12基又は 3,000kW×17基を想定
設備利用率(%)①	21.0	31.5	
年間の発生電力量：②(kWh)	91,980,000	137,970,000	発電所出力50,000kW×24(h) ×365(日)×①
二酸化炭素排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)③	0.667		CO <sub>2</sub> 排出係数（調整後排出係数） 《平成29年度実績》 （中国電力HPより）
二酸化炭素の削減効果(t)④	61,351	92,026	②×③/1,000



# 計画段階配慮事項の選定

環境要素の区分				影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用	
				搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	存在	地形変化及び施設の	施設の稼働		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物								
			粉じん等								
		騒音及び超低周波	騒音及び超低周波音						○		
		振動	振動								
	水環境	水質	水の濁り								
		底質	有害物質								
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質								
		その他	風車の影							○	

注1)  は、「発電所アセス省令」第21条第1項第5号に定める「風力発電所別表第5」に示す参考項目であり、 は、同省令第26条の2第1項に定める「別表第11」に示す放射性物質に係る参考項目である。

注2) 「○」は、計画段階配慮事項として選定した項目を示す。

# 計画段階配慮事項の選定

影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用	
			搬出入 工 事 用 資 材 等 の	建設機械の稼働	一時的な影響 造成等の施工による	存在 地形 改 変 及 び 施 設 の	施設の稼働
環境要素の区分							
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く。）				○	
		海域に生息する動物					
	植物	重要な種及び重要な群落（海域に生育するものを除く。）				○	
		海域に生育する植物					
	生態系	地域を特徴づける生態系				○	

- 注1)  は、「発電所アセス省令」第21条第1項第5号に定める「風力発電所別表第5」に示す参考項目であり、 は、同省令第26条の2第1項に定める「別表第11」に示す放射性物質に係る参考項目である。
- 注2) 「○」は、計画段階配慮事項として選定した項目を示す。

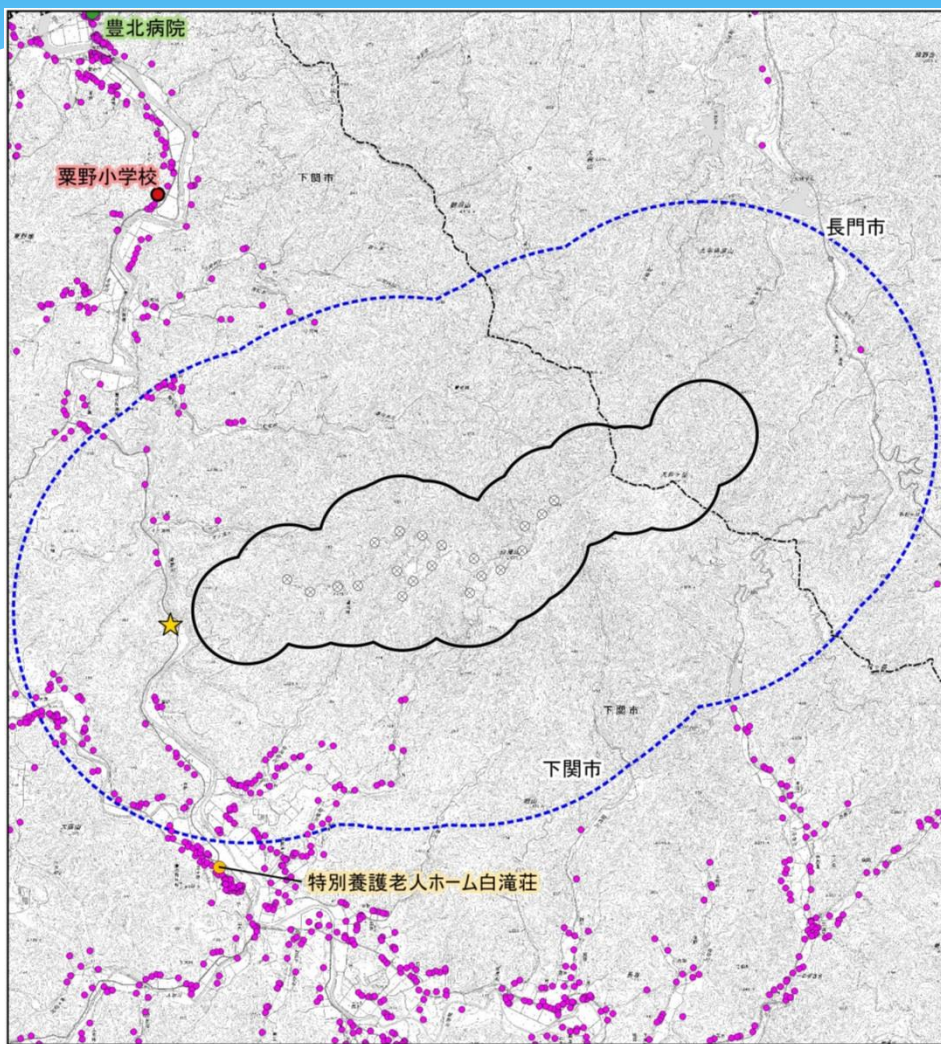
# 計画段階配慮事項の選定

環境要素の区分			影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用	
			搬出入	工事用資材等の	建設機械の稼働	一時的な影響	造成等の施工による	存在	地形変化及び施設の	施設の稼働
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○		
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場						○		

- 注1)  は、「発電所アセス省令」第21条第1項第5号に定める「風力発電所別表第5」に示す参考項目であり、 は、同省令第26条の2第1項に定める「別表第11」に示す放射性物質に係る参考項目である。
- 注2) 「○」は、計画段階配慮事項として選定した項目を示す。

# 騒音及び超低周波音

## ◆ 調査範囲及び住居等の分布状況 ◆



### 《凡 例》

■ 事業実施想定区域

□ 行政界

● 住居等

★ 最寄住居

● 教育施設

● 医療施設

● 福祉施設

事業実施想定区域からの距離

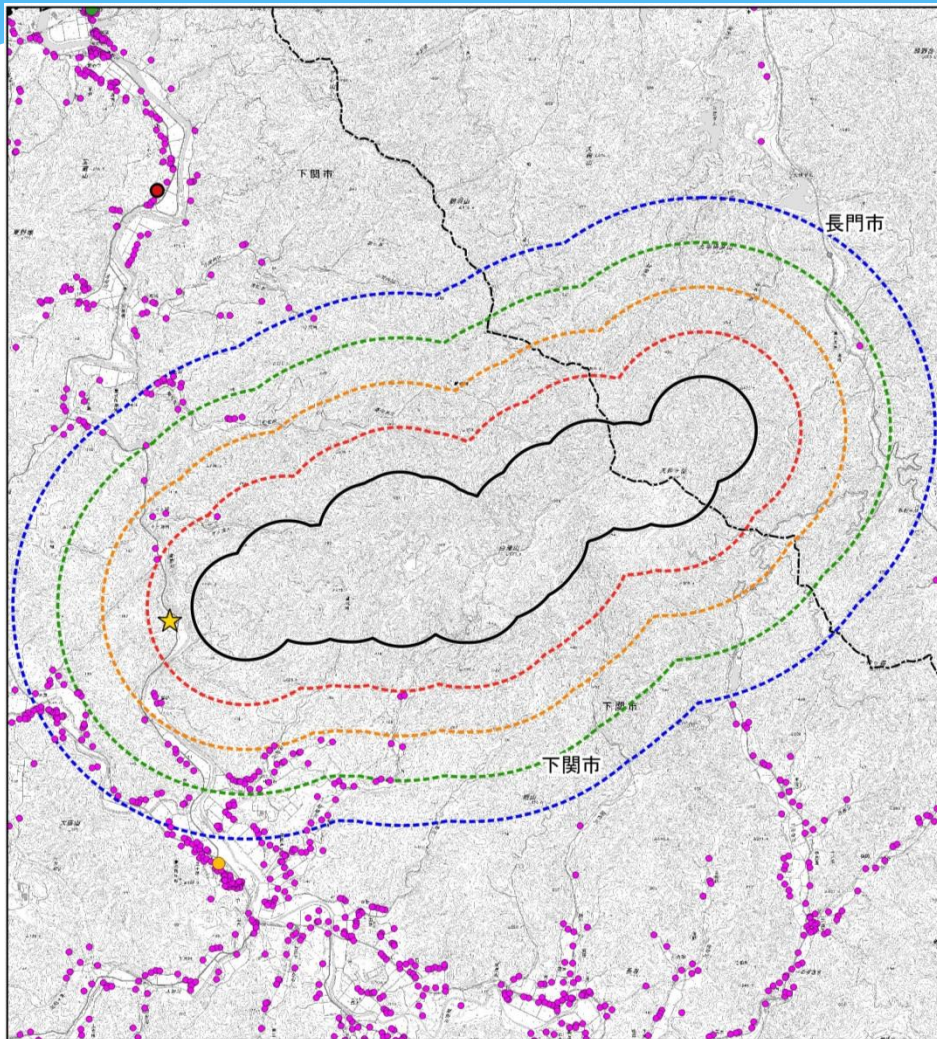
■ 2.0km





# 騒音及び超低周波音

## ◆ 予測範囲及び住居等の分布状況 ◆



### 《凡 例》

■ 事業実施想定区域

□ 行政界

● 住居等

★ 最寄住居

● 教育施設

● 医療施設

● 福祉施設

事業実施想定区域からの距離

0.5km

1.0km

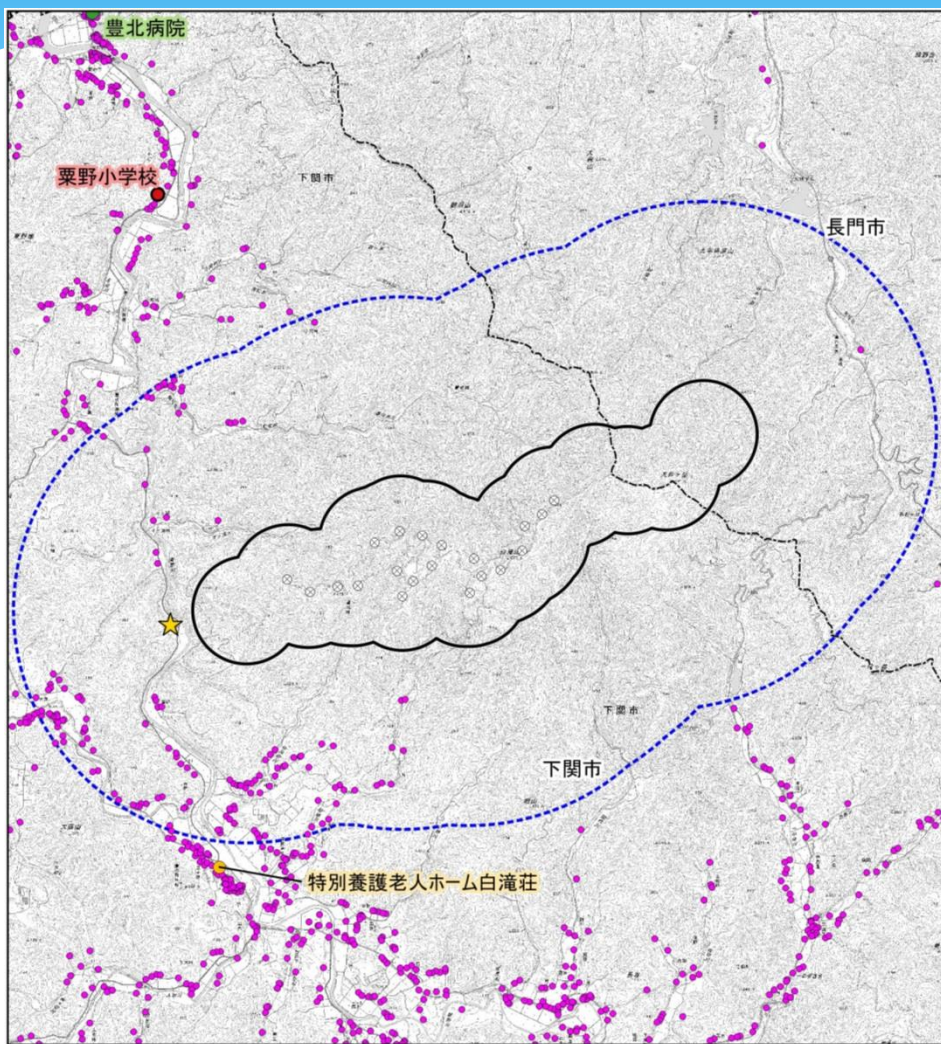
1.5km

2.0km



# 風車の影（シャドーフリッカー）

## ◆ 調査範囲及び住居等の分布状況 ◆



### 《凡 例》

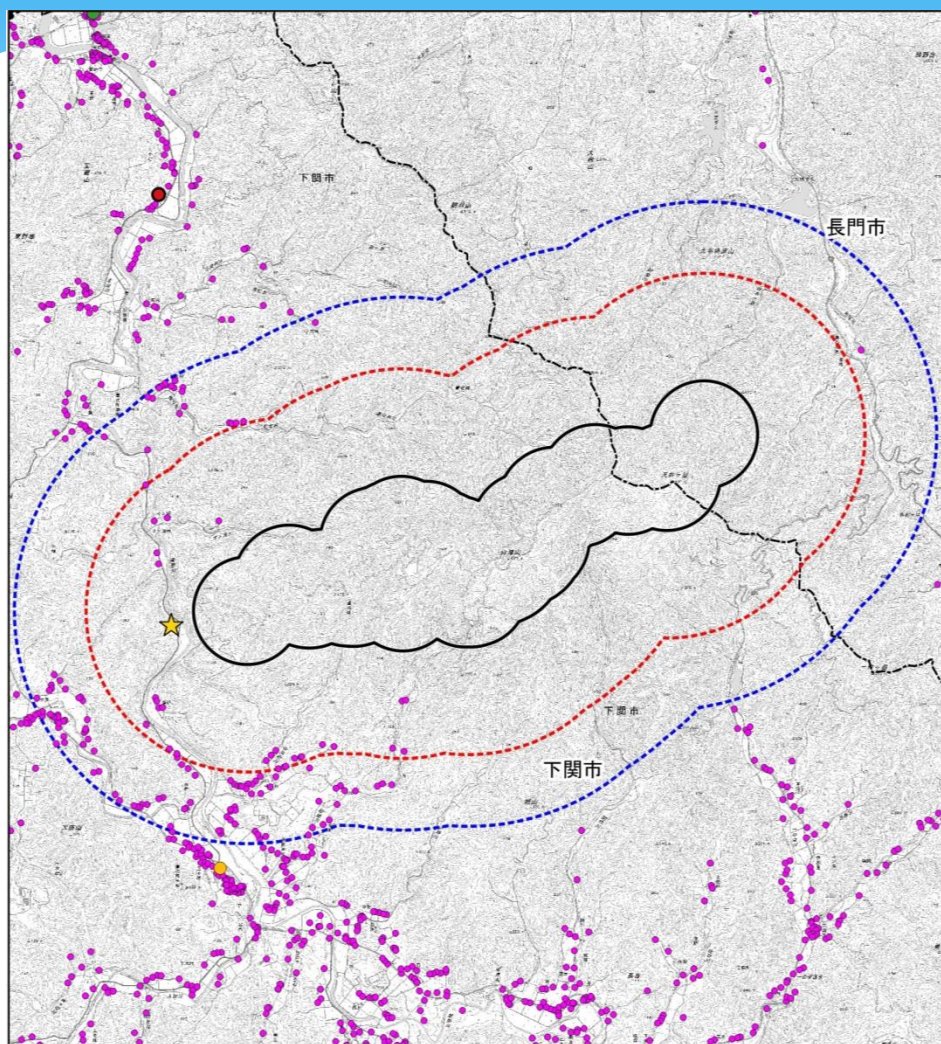
- 事業実施想定区域
  - 行政界
  - 住居等
  - ★ 最寄住居
  - 教育施設
  - 医療施設
  - 福祉施設
- 事業実施想定区域からの距離  
2.0km





# 風車の影（シャドーフリッカー）

## ◆ 予測範囲及び住居等の分布状況 ◆



### 《凡 例》

事業実施想定区域

行政界

住居等

★ 最寄住居

● 教育施設

● 医療施設

● 福祉施設

事業実施想定区域からの距離

1.2km

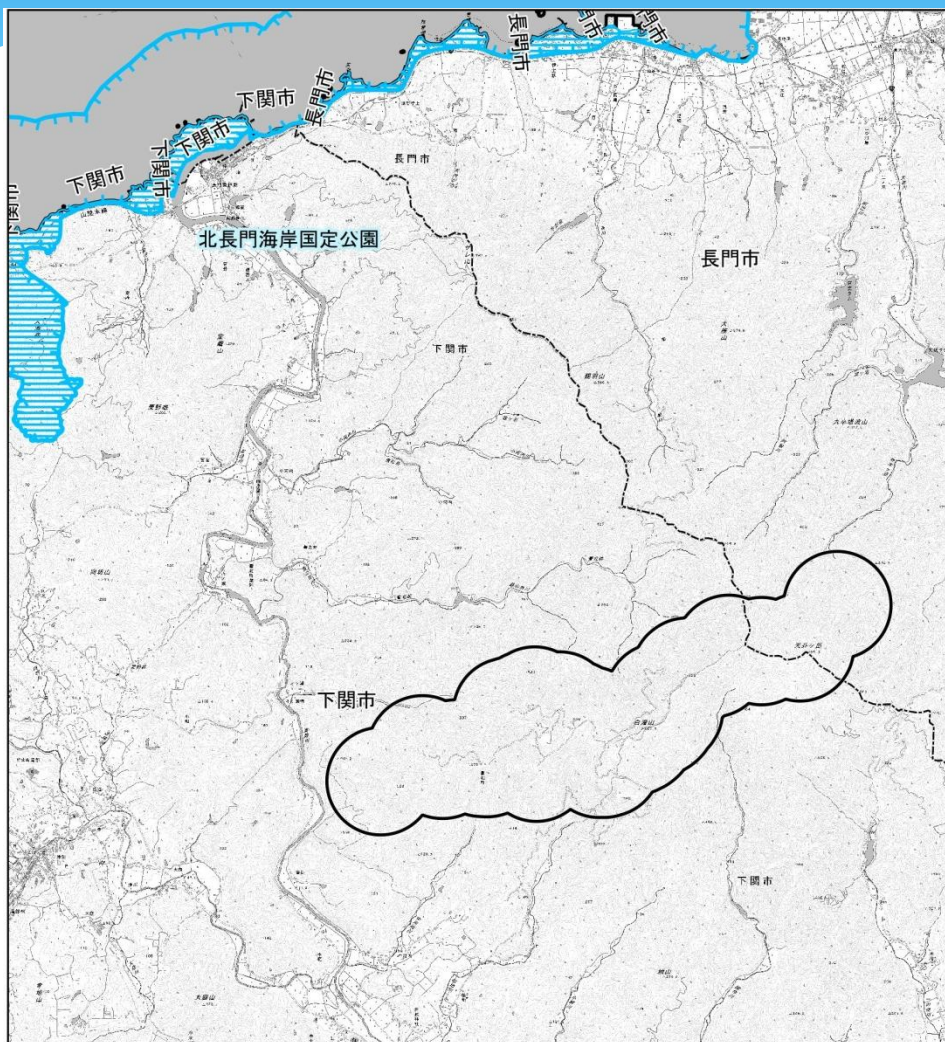
2.0km





# 動物

## ◆ 注目すべき生息地（鳥獣保護区等） ◆



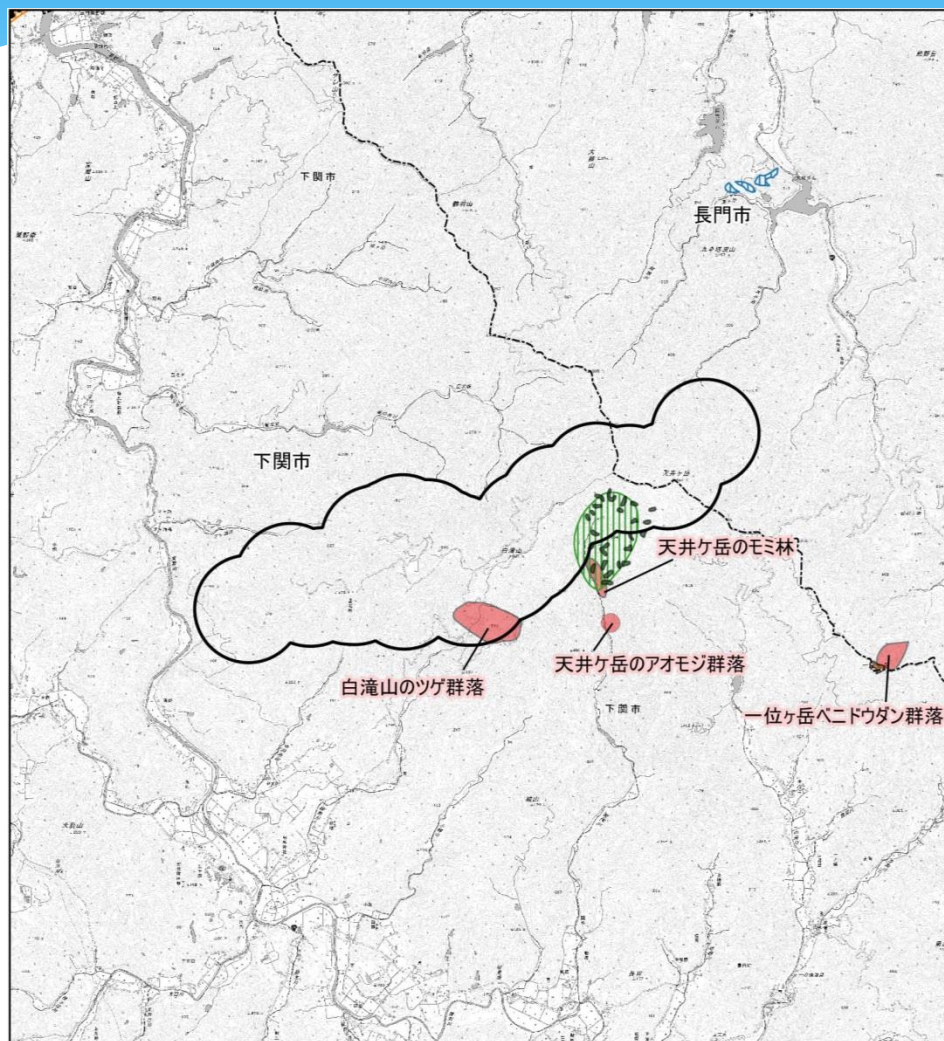
### 《凡例》

- 事業実施想定区域
- 行政境
- 国定公園(自然公園地域)
- 国定公園(特別地域)



# 植 物

## ◆ 重要な植物群落 ◆



### 《凡 例》

■ 事業実施想定区域

--- 行政界

■ 特定植物群落

第2回～第5回自然環境保全基礎調査

■ モミーシキミ群集(9)

■ ホソバカナワラビースダジイ群集(9)

■ マサキートベラ群集(9)

第6回～第7回自然環境保全基礎調査

■ 岩角地・風衝地低木群落(9)

■ モミ群落(VI)(9)

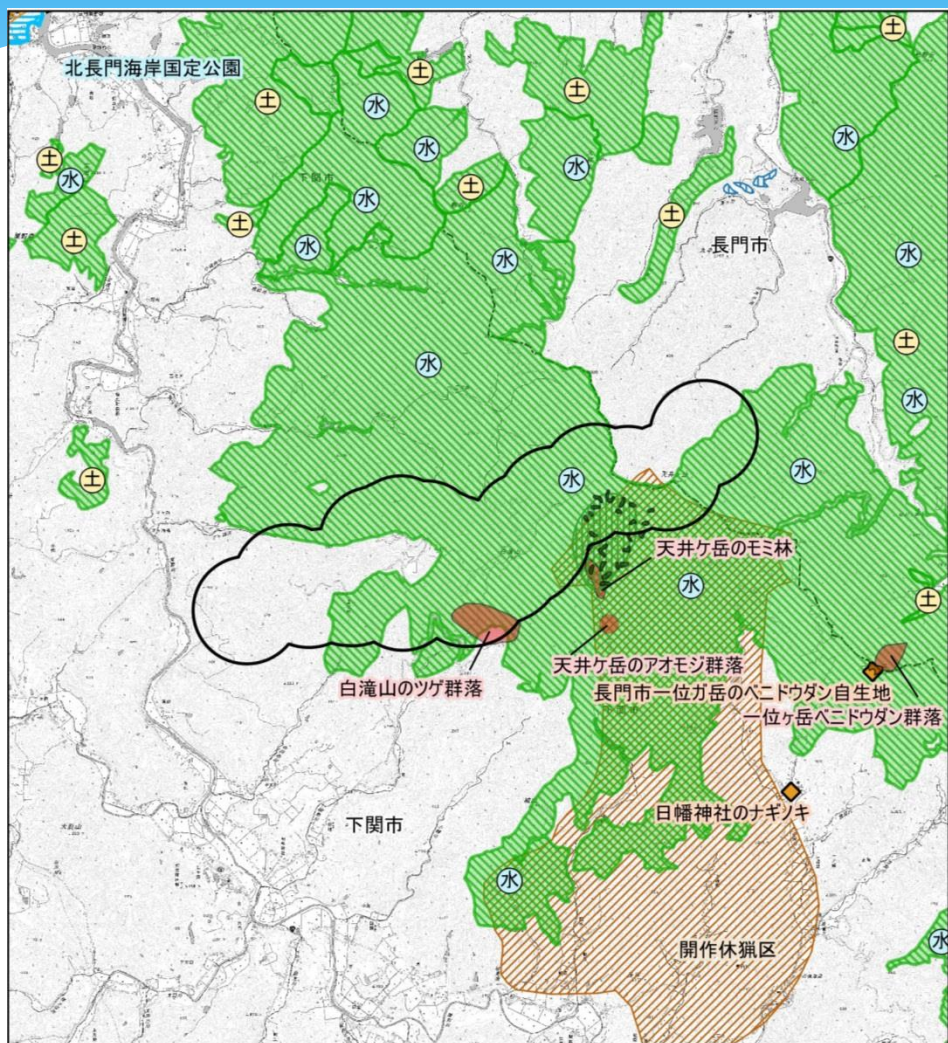
注) カッコ内の数字は植生自然度を示す。





# 生態系

## ◆ 重要な自然環境のまとめりの場 ◆



### ≪ 凡 例 ≫

■ 事業実施想定区域

□ 行政界

■ 保安林

⊙ 水源涵養保安林

⊕ 土砂流出防備保安林

自然公園地域

■ 自然公園地域

■ 特別地域

鳥獣保護区

■ 休猟区

◆ 天然記念物

■ 特定植物群落

植生自然度の高い植生区分

第2回～第5回自然環境保全基礎調査

■ モミーシキミ群集

■ ホソバカナワラビースダジイ群集

■ マサキートベラ群集

第6回～第7回自然環境保全基礎調査

■ 岩角地・風衝地低木群落 (9)

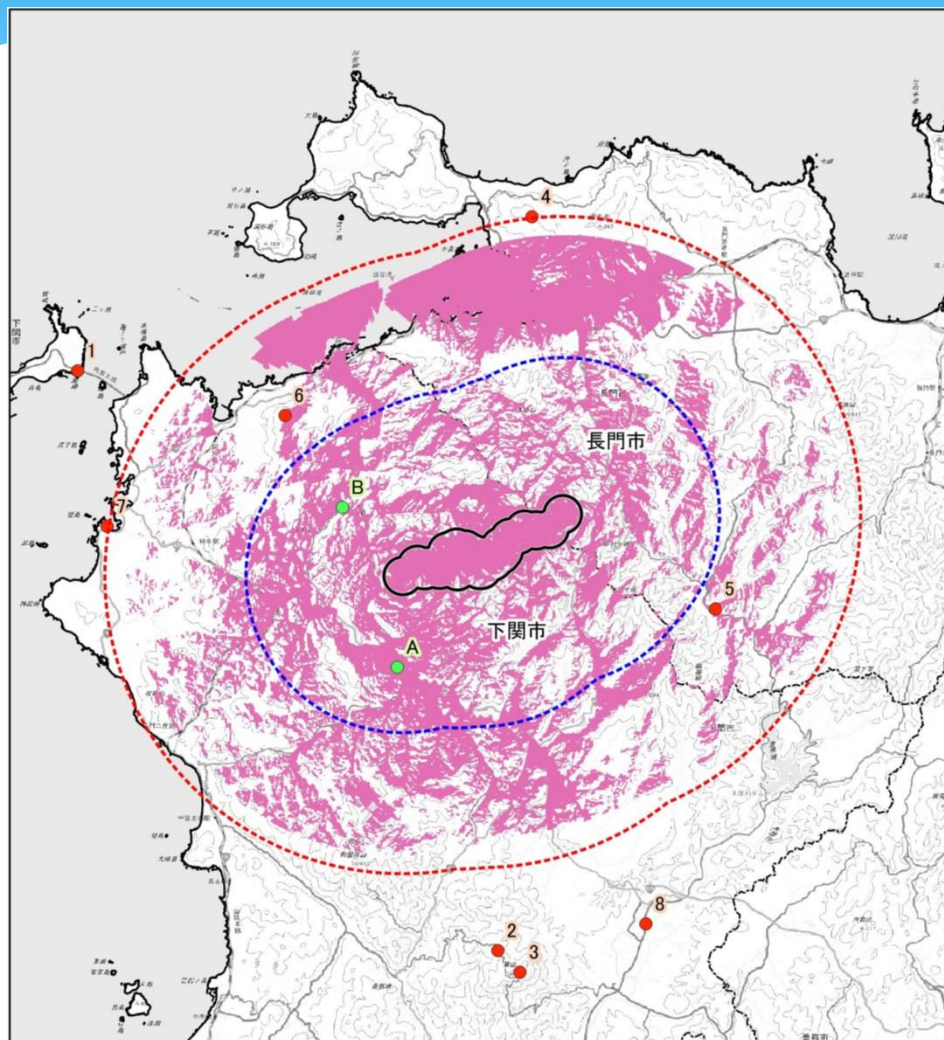
■ モミ群落 (VI) (9)

注) カッコ内の数字は植生自然度を示す。



# 景 観

## ◆ 風力発電機の可視領域 ◆



### 《凡 例》

■ 事業実施想定区域

--- 行政界

● 主要な眺望点

● 身近な眺望点

■ 仮配置した風力発電機が視認できる範囲  
(地形条件のみ考慮)

事業実施想定区域からの距離

--- 4.4km (垂直見込み角が2度以上になりうる範囲)

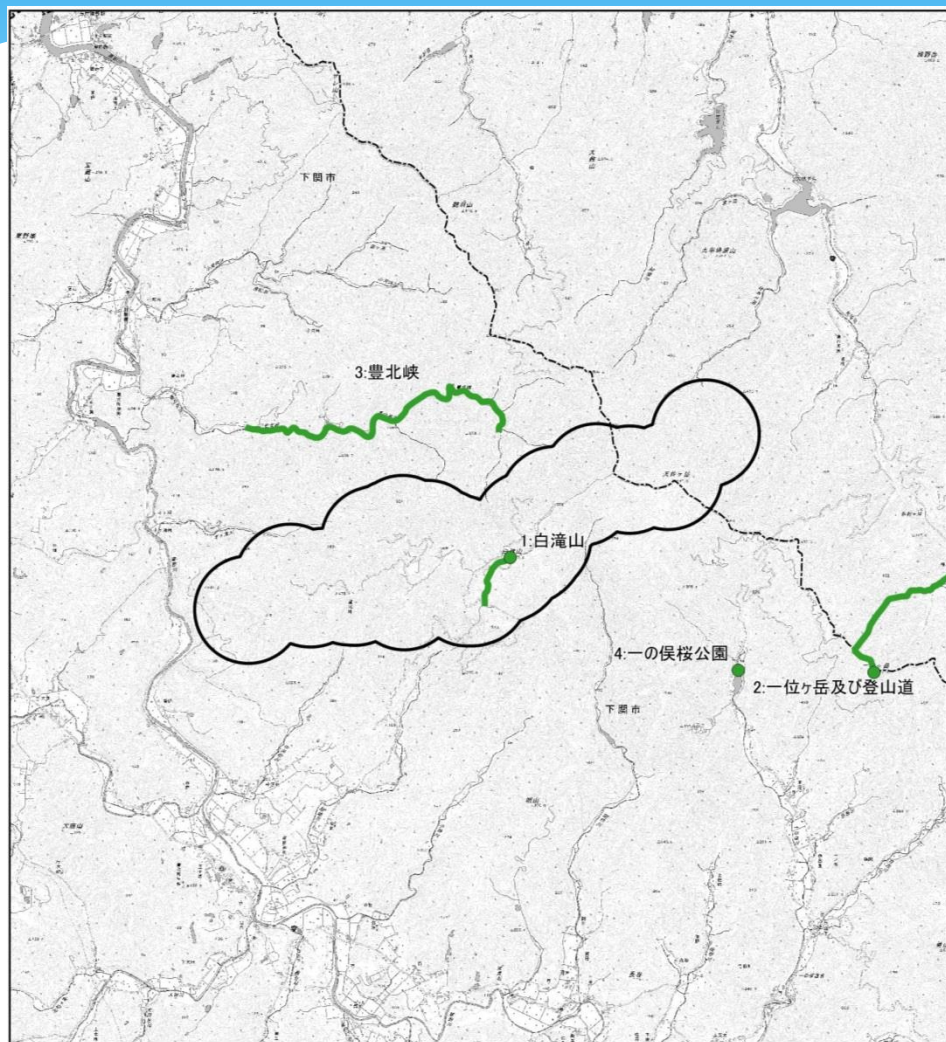
--- 8.9km (垂直見込み角が1度以上になりうる範囲)





# 人と自然との触れ合いの活動の場

## ◆ 人と自然との触れ合いの活動の場 ◆



### 《凡例》

- 事業実施想定区域
- 行政界
- 人と自然との触れ合い活動の場
- //

